



稲田小だより

平成28年5月13日 校長 斉藤 崇

熊本地震 募金活動（4月） —41,170円— —「届けよう みんなの思い」—

4月に発生した熊本地震に対して、子どもたちは総務委員会を中心に、素早い行動を起こしました。募金活動を通して集めた義援金を被災地に届けようという思いからでした。

活動日程の検討、募金箱の準備、校内放送での呼びかけ、保護者への協力依頼の文書作成等々、子どもたちは、自分たちで考え、判断し、行動しました。義援金額は、合計 41,170 円です。

被災地の一日も早い復旧・復興を願い、「今、私(たち)にできることは」という思いを込めて、子どもたちは、この義援金をJRC登録式(9日)の時に新潟支部の方に手渡しました。

子どもたちの心と行動に、深く感動しました。



新1年生を迎える会(4/28)



全校縦割り班遠足(5/2) -自然は、「広くて丸い教室」-



風薫る5月。グラウンドの鯉のぼりが泳ぐ青空の下、関川沿いの新緑の中を、北コース・南コースに分かれて全校縦割り班遠足がスタートしました。ゴールとなる高田公園までは、約5km。途中の各ポイントでは、職員が出す問題に、班全員で頭

を突き合わせて答えを考えます。高田公園では、班ごとに円になってのお弁当タイム。昼食後は、思い思いに友だちや先生との自由遊び。遊び道具は、何もありません。あるのは、広い芝生と新緑の木々、そして太陽と風。

様々な自然体験やふれあい活動を通して、今年一年、子どもたちは、心を開いていきます。

体の具合が変だな？まず休ませ、話を聞いてあげましょう

4月、新たな友だちや担任との出会いがありました。新しい習い事やスポーツ団で活動を始めた子どももいるでしょう。子どもたちは、そのような新しい環境になじもうと一生懸命がんばっています。そのような子どもたちにも、「もうがまんができない」というサインが出るのが、この時期です。「5月病」は、子どもにもあります。サインは、「頭が痛い」「お腹が痛い」「何となくだるい」など、身体の症状に表れることもあります。

子どもは、自分の体の変調の原因についてなかなか気付きません。大人である私たちが、その原因に気付くことが大切です。子どもが変調を訴えたら、まず身体を十分に休ませましょう。食事・就寝・起床の生活リズム、ゲームの接触時間等を子どもと一緒に振り返りましょう。その上で、時間をとって子どもの身体にふれ、話をじっくり聞いてあげましょう。

上手な休息で心と体のバランスを保つ。この時期を乗り切った子どもたちは、真夏の季節にたくましく飛び出していきます。

第1回 学校運営協議会(記録)

- 1 日時 平成28年5月9日(月) 15時15分～16時45分
- 2 会場 稲田小学校会議室
- 3 委員 ○斉藤 崇(校長) ○清水孝夫(鴨島3;町内会長) ○檜木國雄(子安;地域住民)*「欠席」 ○黒田勇藏(民生委員・児童委員) ○上原陽子(稲田保育園長) ○高橋由美子(新道地区公民館主事) ○北條明美(地域住民)
○佐々木由美(青少年育成会議会長) ○布施達也(青少年育成会議コーディネーター) ○成田一栄(PTA会長) ○清水雅之(上越教育大学准教授)*「欠席」
- 4 内容
 - (1) 学校経営方針説明(校長)
 - (2) 夢・志チャレンジスクール事業説明(教頭)
 - (3) 年間教育活動の概要説明(教務)
 - (4) 生活科・総合学習に係る熟議(各学年部別)
 - (5) 協議(概要)

- ① 「ゆめ時間 ゆめ空間 ゆめ仲間 稲小C・S ゆめ工房」—願い・創造・協働—を合言葉に、学校運営協議会を核に、学校・家庭・地域による学校づくりを進めたい。
- ② 各学年の生活科・総合学習の充実のために、地域の様々な歴史、文化、施設、人材に係る情報提供をいただきたい。また、是非、そのような方々と学校をつなぐコーディネーターをお願いしたい。
- ③ 地域での子どものあいさつは、家庭の躰や考え方に依るところが大きいのではないか。
- ④ 民生委員・児童委員として、今後も地域の子どもの様子等を見守っていきたい。
- ⑤ 地域の店での子どもたちの行動(おごり合い)が懸念される。見守っていきたい。

カフェ「いなだ」・ほっとコーナー

ファイルNo.2 子どもたちのために

(今月の担当は、2年1組担任 伊藤 真澄教諭です)

「あなたは、平成21年入学から、6年間たくさんの本に出会い読んでくれました。ここに感謝の意を表します。中学校でも、素敵な本に出会えますように…」

昨年度3月の会議室。図書ボランティアの皆さんが、6年生のためにお話会をして、最後に一人一人に感謝状を贈ってくださいました。

稲田小学校では、毎年十数名の図書館ボランティアの方が朝の読み聞かせ、昼のお話会、図書の整備をしてくださっています。7月の七夕飾り、12月にはクリスマスツリーなど季節感あふれる掲示物で明るい図書室にさせていただき、おかげで本に親しむ子が増えてきました。子どもたちのために…という心配りをとてもありがたく、うれしく思います。

図書ボランティアの皆さんの活動が、今年度も始まります。